

令和6年度 第4回南牧村地域防災情報等提供施設審議会 議事概要

日時：令和6年11月28日（木）13：30～17：00

視察先：上田ケーブルビジョン（東御市ケーブルテレビ事業）

参加者：南牧村地域防災情報等提供施設審議会委員8名、事務局4名（総務課職員：津金総務課長、広田課長補佐、今井係長、伊藤係員）

【決定事項】

次回、審議会の開催

2025年1月16日（木）13：30～（南牧村大会議室北）

【視察内容】

- 1、開会
- 2、開会あいさつ
- 3、東御市ケーブルテレビ事業説明について
- 4、質疑・意見

（委員からの主な質疑・意見）

○民間移行しての感想は。

→総じてよかった。ケーブルテレビ業界は変化が激しく、変化に対応するためには異動のある職員ではなく、プロの民間会社に任せる方が適当であると感じている。

○子どもに関する番組はどのように制作、放送されているか。

→子どもが映る番組を重視している。小中学生の入学式、音楽会、卒業式等、学校行事などを凄く大切に撮影している。

- 5、施設見学

視察終了後、南牧村役場へ移動

【視察からの帰庁後、審議会を開催】

- 1、開会
 - 2、会長あいさつ
 - 3、第3回～4回の視察振り返り（小谷村、東御市）等、意見交換について
- （委員からの主な意見）

○役場の中に事務所があると、職員との連携は取りやすい。地元雇用が生まれるのもよい。民間移行のデメリットは視聴料が発生すること。規模も南牧村と近く民間移行のイメージが湧きやすく感じた。

○IRU契約は10年ほどの契約であるが、10年続けて村民がサービスを受けて

いくと考えると、公設民営の方向に進むのがいいのかなと思う。

○専門的なスタッフがいることがケーブルテレビには必要だと思う。民営化にあたり細かいところで問題点が出てくることが予想される。調整が大変になるだろう。

○村外に向けての情報発信が多いと感じたが、南牧村では何を発信するのが課題。また、移行した場合、子どもの撮影も今まで通りのホームビデオの延長ではいられないのではと感じた。

→（委員）一番心配している点であるが、その点は変わらないと考える。

→（事務局）YKTVが一番大切にしているところなので、運営会社を選ぶ際は重要な項目になっていくものと考えて。

○大きくは公設民営がいい。あとは、民営事業者をどこにするか。それぞれ個性があり、南牧村に合う事業者を、どのように合わせて、よい形にしていくか。これからの内容の分析になるかと思う。

○設備、システムについて役場とうまく連携をとれることが重要。

○撮影のカメラ位置の調整が可能だったり、柔軟な対応をしてくれる印象を持ち、今の南牧村の状況に近いと感じた。

○インターネット通信速度で実測値が速くなることが民間移行で大切

○民間移行の際はただ民間に任せるのではなく、役場職員が何名か残り長期的な引き継ぎをすることが重要。また、よい体制を作るには予算が多く必要。視聴料についても村負担なのか、村民負担なのか決めていくべき課題。

○専門職員が運営する様子を視察したところ、短い期間で異動がある役場職員の体制で現在まで続いてきたことに感心。ホームビデオの延長でもいいのだが、もう少し編集の中でストーリー性を作るのか話もある。放送局、村としてのスタイルも交えながら進めていくことと感じている。

○大事な価値観を残すことが重要。運営会社からの提案も期待される。

事務局：皆さんの意見を聞き今日の段階では公設民営の方向性と感じた。また、次のステップとして役場の中のスタジオの運営方法をどうするか、お金の面ではどうするのかなどの細かな課題に直面していくのと感じている。

閉会

【次回会議日程】

日時：1月16日（木）13：30～

南牧村役場3階大会議室